

2008 年度第 6 回 L-ラーニング学習支援システム研究分科会記録

日 時：2009 年 1 月 23 日（金）13：30-18：20

場 所：日本女子大学 目白キャンパス

出席者：阿部（東京歯科大学）、金子（早稲田大学）、田代（日本女子大学）、

小田切（麻布大学）、豊田（オブザーバ）、南雲（国際大学・記録）

配布物：タイムテーブル

1. 事務連絡

特になし

2. リポジトリ運用について

アクセス数は増加しているが、登録数に変化が見られない。

【解決案】

- ・ 代行登録を行う。
登録希望数が多ければ分科会予算を利用してアルバイトを雇い、登録作業を任せる。
著作権処理の問題、コンテンツの電子化の問題(誰がやるのかという点)が検討課題として挙げられた。
- ・ 私立大学図書館協会の出版物のアーカイブ化を行う。 許諾依頼が必要
- ・ 大学図書館員のブログのリンク集を作る。
- ・ ブログのトラックバック機能を利用して外部ブログとの連携を図る。
- ・ 宣伝活動として新着コンテンツの自動配信を行う。
- ・ 既存の ML を利用して個人登録を促すメールを送る。

3. リポジトリと学習支援システムの連携について

- ・ 「はてな」、「教えて Goo」等の仕組みとリポジトリとの連携を検討する。
回答することも学習になる。
- ・ 講習会の抄録作成・レビューへのリンク・参考文献へのリンク付けなどを行う。
- ・ 大学図書館員が興味を持つ Topic（選書、蔵書点検など）についてのアンケートを行うことで、他大学の事例を集め、自館業務の参考とする。
纏めたものをコンテンツとしてアップする（回答者情報は公開しない）

4 . 宿題と今後

大学図書館員が作る他大学のリポジトリへのリンク付けをする。

(各自/最低3件、期限：2月末)

* 内容が重複しない様、リンク付け完了時にメンバー間でメール報告し合う。

登録依頼メール第2弾として、代行登録を行う旨の連絡を、賛同館宛に行う。

(担当：阿部)

選書関連のアンケート案作成 (担当：金子、期限：2月第1週)

蔵書点検関連のアンケート案作成 (担当：田代、期限：2月第1週)

返信期限は3月上旬を目処とする。

5 . 次回予定

日程：3月末、場所：東京歯科大学

以上